



こどもの日



5月5日は「こどもの日」です。
 こどもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」として1948(昭和23)年に「国民の祝日に関する法律」によって定められました。
 今回は、「こどもの日」にちなんで、こどもの数と割合の「今と昔」について、調べてみました。



表1 男女別こどもの数及び総人口に占めるこどもの割合

		2020年 4月1日現在	1950年 4月1日現在	増減数
こどもの数 (万人)	男女計	1512	2943	-1431
	男	774	1488	-714
	女	738	1446	-708
	人口性比	105.0	102.9	2.1
総人口 (万人)	男女計	12596	8320	4276
	男	6131	4081	5050
	女	6465	4239	2226
	人口性比	94.8	96.3	-1.5
総人口に占めるこどもの割合 (%)		12.0	35.4	-23.4

資料：総務省 人口推計より



まず最初に表1をごらんください。
 「男女別こどもの数及び総人口に占めるこどもの割合」について、2020年と1950年を比較してみました。
 2020年のこどもの数(15歳未満人口、以下同じ)は1,512万人で、男女とも1950年の約半数まで減少していることが分かります。
 総人口に占めるこどもの割合についても、2020年は12.0%と1950年の35.4%から減少していることが分かります。
 なお、女子100人に対する男子の数(人口性比)は、2020年で105.0となっており、1950年と比べて男子の割合が増加していることが分かります。

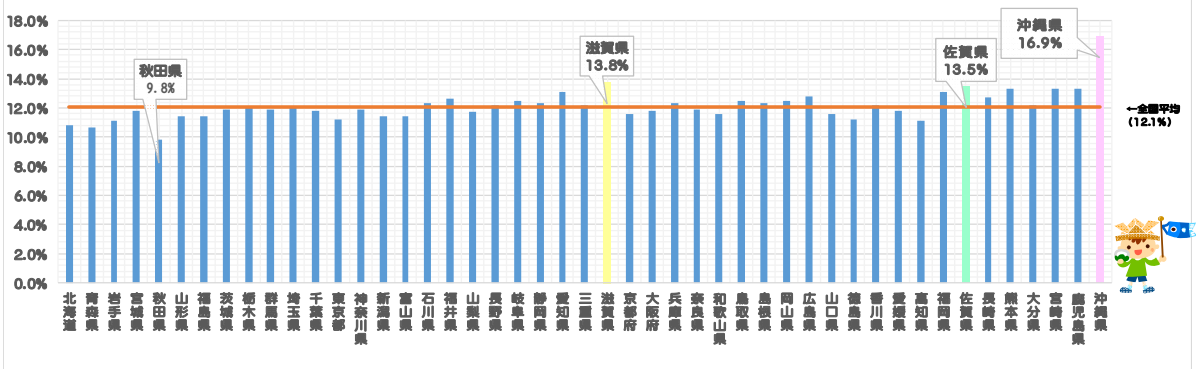
表2 都道府県別こどもの数及び割合<上位3位以内>(2019年10月1日現在)

		2019年		対前年差	
都道府県		こどもの数(千人)	こどもの割合 (%)	数(千人)	割合 (ポイント)
全国		15,210	12.1	-205	-0.1
こどもの数 順位	1 東京都	1,553	11.2	3	0.0
	2 神奈川県	1,099	11.9	-12	-0.2
	3 大阪府	1,043	11.8	-13	-0.2
割合 順位	1 沖縄県	245	16.9	-2	-0.1
	2 滋賀県	195	13.8	-2	-0.2
	3 佐賀県	110	13.5	-2	-0.1

資料：総務省 人口推計より

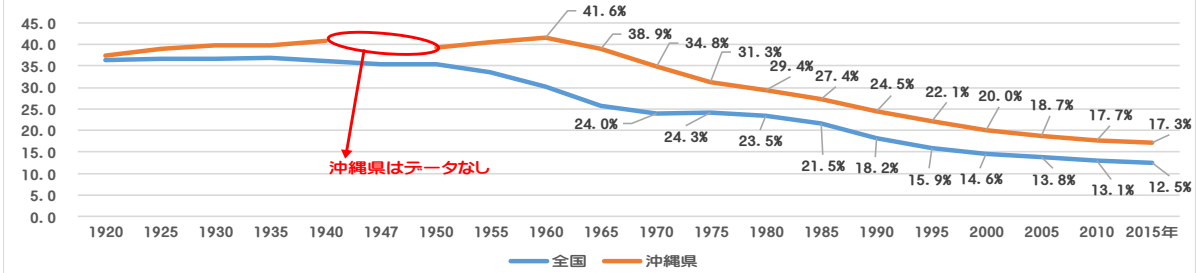
次に表2及び図1をごらんください。
 表2は、2019年10月1日現在の都道府県別こどもの数及び割合<上位3位以内>の状況について掲載しています。
 全国的にこどもの数が減少傾向にある中、東京都は前年と比較して3千人の増加となっています。
 図1は、2019年10月1日現在の都道府県別のこどもの割合について掲載しています。
 全国平均は12.1%で、沖縄県が16.9%と最も高く、次いで滋賀県が13.8%、佐賀県が13.5%などとなっています。
 一方、こどもの割合が最も低いのは、秋田県の9.8%となっています。

図1 都道府県別こどもの割合(2019年10月1日現在)



資料：総務省 人口推計より

図2 こどもの割合の推移—全国と沖縄県



資料：国立社会保障・人口問題研究所、人口統計資料集2020年版より

最後に、全国と沖縄県のこどもの割合の推移(図2)をみましょう。
 全国では、第二次ベビーブーム(1971年から1974年)の影響でこどもの割合が1975年にわずかに上昇していますが、それ以降は減少傾向で推移しています。
 沖縄県でも1960年以降、減少傾向で推移しており、2015年の全国及び沖縄県のこどもの割合は、過去最低となっています。